

授業科目(ナンバリング)	日本語コミュニケーションB (CB205)			担当教員	内田 智子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本講義は、日本語教員養成課程の履修者の必修科目であり、「日本語の構造」研究分野のうち、「語彙」について学ぶ。</p> <p>本講義は、日本語の語彙の特徴を、種類、歴史、意味、文化との関連性等、様々な面から考察し、日本語の語彙体系から日本人の考え方を探っていく。毎時間、最後に日本語の語彙について考える課題を出す。受講者一人一人が、日本語の語彙を分析し、日本語教育に活かすことができるようになることを目標とする。</p>							②④⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	日本語の語彙体系を理解し、グループで意見交換ができる。				意見シート 提出物	20% 30%	
協働・課題解決力	課題に対し、グループで協力して答えを導き出せる。				課題レポート	10%	
多様性理解力	外国語と日本語を比較し、日本語の特徴を理解する。				定期試験	40%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>日本語の語彙の分析に関する意見シートで20%、グループ課題の提出物で30%、課題レポートで10%、定期試験で40%を評価する。</p> <p>提出物、意見シートに関しては、翌週の授業内容に反映させる。課題レポートの内容も授業中にフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>日本語の語彙を様々な観点から分析し、語彙体系から日本文化や日本人の考え方の特徴を探っていく授業である。受講生自らが日本語の単語を収集し、考え、分析できるようになることを目標とする。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：金田一春彦『日本語(上)』岩波新書 参考書：適宜紹介する 指定図書：金田一春彦『日本語(上)』岩波新書</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>授業は学生の意見を最大限に反映させて進める予定である。授業を聞いて、気づいたこと、考えたこと、調べたことを積極的に発言してほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	導入	無意識のうちに獲得してきた「語の組み合わせ」のルールを確認する。	学校文法で習う品詞について調べておく(予習)
2	日本語の品詞と文法	日本における品詞の概念・歴史について解説する	品詞の分類表作成(予習)
3	学校文法と日本語教育	学校文法と日本語教育文法の違いについて解説する	学校文法と日本語教育文法の対応表作成(復習)
4	語彙の数と体系	日本語における語彙の特徴を解説する。	類義語の収集・分析(復習)
5	語彙の構成	和語・漢語等の分類・特徴を解説し、歴史的観点から日本語の語彙を考察する。	和語・漢語等の語彙の収集(復習)
6	造語法	複合語を中心に日本語の主要品詞のつくり方を解説する。	複合語の分析表作成(復習)
6	単語の形態	略語・若者言葉等について考察する。また、日本語の表記法について解説する。	日本語の語彙の特徴についてのレポート作成
7	日本人と辞書	辞書の種類・歴史を解説する。	辞書の種類とそれぞれの特徴を考察(予習)
8	語の意味①	単語の意味について考察する。	語の意味の考察(復習)
9	語の意味②	語の意味を反義・類義・対義・偏義・原義・転義などから解説する。	対義語の収集(予習)
10	自然関係の語彙	自然関係の語彙と、日本の環境との関連性について解説する。	季節を表す語彙の収集(予習)
11	人間関係の語彙	日本語における人間関係の語彙の特徴を解説する。	人体に関する語を使った慣用句の収集(復習)
12	オノマトペ	日本語のオノマトペと語感について考察する。	オノマトペの収集(予習)
13	生活関係の語彙	日本語における生活関係の語彙について解説する。	調理の語彙の収集(予習)
14	社会関係の語彙	日本語における社会関係の語彙の特徴を解説し、日本の人間関係の特徴を考察する。	日本の文化と語彙についてのレポート作成
15	まとめ	語彙論としてのまとめをおこなう。	定期試験準備
16	定期試験	筆記試験	授業を振り返り、試験の準備をする。